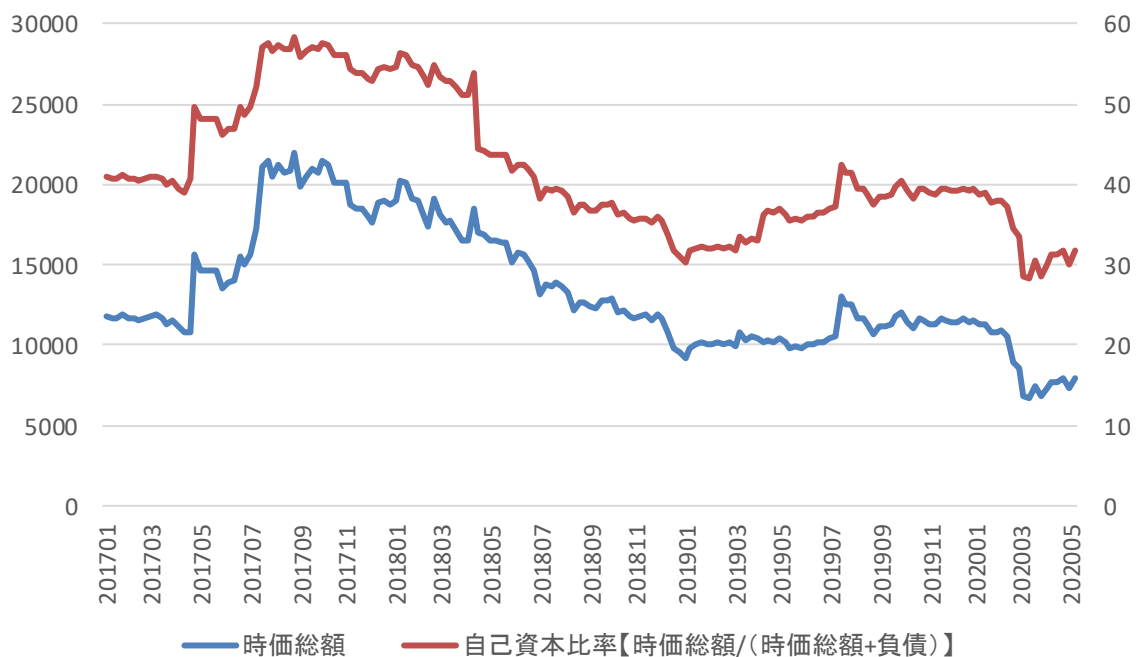


(株) レナウン 倒産日 2020年5月15日

[証券コード：3606 東証1部上場 日経36業種：商社]



【左軸:時価総額（百万円）、右軸:自己資本比率（%）】

レナウンは1902年創業、ダーバンやアーノルドパーマータイムレスといったブランドで知られる老舗アパレル企業である。90年代には世界最大規模のアパレル企業であったが、百貨店販売を主体とするビジネスモデルは、インターネット通販やファストファッションの台頭により年々厳しさを増し、経営不振から2010年より中国大手の山東如意科技集団から出資を受け連結子会社となっていた。

しかし、ブランド力の低下は止まらず、山東如意のグループ会社からの資金回収も滞り、前期まで2期連続の赤字であったが、今般の新型コロナウイルスの感染拡大により、テナント出店している百貨店等の営業休止によって、衣料品の販売が急減して資金繰りに行き詰まった。民事再生法は子会社のレナウンエージェンシーが債権者として、東京地裁へ15日に申請し、受理された。(注1)

#### ◆過去3カ年主要財務項目の推移

	2018年2月末	2019年2月末	2019年12月末
時価総額	17,020	10,131	8,915
負債	21,217	17,789	17,008
営業利益	215	-2,575	-9,599
経常利益	565	-1,998	-9,354
当期純利益	1,352	-3,942	-8,090

(単位:百万円 日経金融工学研究所調べ)

注1:日経電子版 2020年5月15日および16日付を元に日経金融工学研究所が記載



【左軸:時価総額（百万円）】

上場企業に対し、株価の変動と財務指標で信用力（DCRI）を測定する弊社製品 DEFENSE(ver5)では、2017年初めの時点で当該企業を bb 格で評価していた。2019年2月期決算で営業損失の計上がなされ、それを受けて bb 格と bb-格とのボーダーライン近くまで評価は悪化した。決算期が2月から12月に変更された直近の2019年12月期決算では2期連続での営業損失となり、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在するとの注記も記載された。この発表を受けた2020年2月には b+格に評価が低下。その後もコロナ禍の影響も受けての株価下落、ボラティリティ上昇もあり、2020年3月には b+格から b-格へ評価が急低下、倒産直前の5月第2週（14日が基準日）まで b-格評価が継続した。

◆倒産時点より遡った DEFENSE の主要項目

	104 週前	52 週前	26 週前	12 週前	4 週前
DCRI	11.379	12.171	11.762	13.851	15.103
DCR	bb	bb-	bb	b+	b-
Status	Yellow-2	Red-1	Yellow-2	Red-1	Red-2
DCRI 業種平均	9.509	9.823	9.488	9.640	10.202
DCRI 業種中央値	9.449	9.897	9.438	9.448	10.075

DEFENSE の Status は 6 段階（※）で表現しており、その中で Red-1、Red-2 は相対的に信用力に問題のある企業に対するシグナルとなっている。

※Green-1、Green-2、Yellow-1、Yellow-2、Red-1、Red-2

「Default Event Study（デフォルトイベントスタディ）」のお問い合わせは、下記までご連絡をお願い致します。  
 株式会社 日経金融工学研究所 Tel 03-6273-7743 FAX 03-6273-7973 URL <https://www.ftri.co.jp/>

「デフォルトイベントスタディ」の著作権は日経金融工学研究所に帰属し、その目的を問わず、情報の全部または一部を無断で引用または複製することを禁じます。「デフォルトイベントスタディ」は、信頼に足ると判断したデータ、情報を掲載していますが、日経金融工学研究所は、その正確性、確実性、有用性を保証するものではありません。また、日経金融工学研究所は、「デフォルトイベントスタディ」の直接的および間接的を問わず、その使用により結果として生じた損害、損失、紛争に関して、一切補償致しません。